

歳を重ねても安心して暮らし続けられる地域へ、成年後見制度の利用を支援

久慈地域成年後見センター開所

12月21日、成年後見制度の利用支援などを行う久慈地域成年後見センターが市総合福祉センター（福祉の村）内に開所しました。同センターは、久慈管内の4市町村が共同で設置。専門の職員が配置され、委託を受けた久慈市社会福祉協議会（日當光男会長）が業務を担います。

開所に先立ち基本協定書締結式を開催。4市町村の首長が、協定書に調印を行いました。調印を終え、遠藤譲一市長が「地域を挙げて、安心して高齢化社会を迎えられる体制を築くことができました。住民の期待に応えるためにもセンターをしっかり支えていきます」とあいさつ。続いて、関係者が入口の看板を除幕し、開所を祝いました。



入口に設置された看板の除幕を行う関係者ら

●成年後見制度とは？

認知症・知的障害・精神障害などにより、物事を判断する能力が十分でない人が対象です。対象者に代わって各種契約や財産の管理などを行う援助者（成年後見人など）を選任し、法律に従って支援を行う仕組みです。成年後見制度には、次の2種類があります。

■任意後見制度…判断能力が不十分になる前に

将来、判断能力が不十分になった場合に備えて、あらかじめ「誰に」「どのような支援をしてもらうか」を契約で決めておく制度です。

■法定後見制度…判断能力が不十分になってしまったとき

すでに判断能力が不十分になってしまった場合に、家庭裁判所への申し立てにより、対象者の判断能力の程度に応じて援助者を選定する制度です。対象者の判断能力の度合いに応じて、後見（判断能力が全くない）、保佐（判断能力が著しく不十分）、補助（判断能力が不十分）の種類があり、種類に応じた権限が援助者に付与されます。

成年後見センターにご相談ください

成年後見センターでは、成年後見制度の総合窓口として専門職員が相談に応じるほか、制度の利用支援を行います。また、法人後見の受託、市民後見人の育成と支援、成年後見制度の普及・啓発活動なども担います。

■相談受付… 8時30分～17時15分（土日祝日・年末年始を除く）

久慈市社会福祉協議会 ☎ 53-3380

例えば
こんなとき



軽度の認知症の症状がみられるAさんは、娘のBさんと同居しています。ある日、Bさんが外出している間に、Aさんは訪問販売業者に勧められ、必要のない高価な商品を多数購入してしまいました。

Bさんは、補助開始の審判申し立てと合わせて、高額な商品を購入する際の「同意権付与」の審判申し立てを行いました。

その後、家庭裁判所の審理を経て、Bさんが補助人に選任。これにより、AさんがBさんに断りなく高額な商品を購入してしまった場合、Bさんがその契約を取り消すことが可能になりました。

NEWS

音楽の贈り物 vol.3 ～ジャズとクラシックの共存～

シンフォニーが観衆を魅了



繊細かつ力強い調べを響かせた協演

1月14日、アンバーホールでジャズピアノニストの小曾根真さんと仙台フィルハーモニー管弦楽団による「音楽の贈り物Vol.3～ジャズとクラシックの共存～」が開催。約440人が来場し、ジャズピアノと管弦楽のシンフォニーを楽しみました。

公演では同楽団がウエストサイド物語などクラシック曲



ジャズの魅力を語る小曾根さん（右）

3曲を演奏し、ホールに豊かな音色を響かせました。また、小曾根さんと同楽団の協演ではラプソディ・イン・ブルーなど2曲を演奏。繊細かつ軽快なジャズピアノの調べと臨場感あふれる管弦楽の演奏に観衆は魅了されました。

盛岡市から訪れた矢野奈緒子さんは「管弦楽団のダイナミックな演奏や小曾根さんの即興演奏は素晴らしいですね。生の演奏が心に響きました」と満足した様子でした。

NEWS

パナソニック(株)がLEDプレスレット寄贈

地域の伝統行事を安全に



目録を手渡す笠原誠室長（左）

12月16日、パナソニック株式会社が東日本大震災復興支援の一環として、市にLEDプレスレット300個を寄贈。プレスレットは、震災で被害を受けた久慈湊地区で行われる「ホロロン」の協賛品として提供され、久慈湊小学校と久慈湊保育園で配布されました。

ホロロンは久慈湊地区で行われる小正月の伝統行事で、子どもたちが「ホロロン」の掛け声とともに家々を回り、お菓子をもらって歩きます。訪れた家には福が来るとされ、かつては市内各地区に類似的行事がありました。



プレスレットを身に付け、家々を回る子どもたち

の各所で上がり始める、子どもたちの元気な「ホロロン」の声。交通量の多い国道沿いでは、町内会や久慈湊十日会のメンバーらが交通誘導を行うなど、地域一体で伝統の行事をつないでいます。たくさんの人たちに見守られながら2時間ほどで家々を回った子どもたち。お菓子でいっぱいになった袋を手に、ほくほく顔でした。



アサヒグループ助成 地域の文化活動に貢献

アサヒグループホールディングス株式会社（小路明善社長）は、CSR（企業の社会的責任）活動の一環として、東日本大震災の被災地で郷土芸能の保存・発展に寄与する活動に対する助成を行っています。

12月15日、市役所で贈呈式が行われ、アサヒビール株式会社東北統括本部の田中大副本部長が「小国自治会」「鼻館女性の会」「に組（久慈秋まつり山車組）」の3団体に対して目録を贈呈。に組の山田貞悟組頭が代表して謝辞を述べ「今年は台風の影響で秋まつりが開催できませんでしたが、来年に向けて我々が復興の音頭をとっていきます」と意気込みました。

INFORMATION

マイナンバーカードの手続き ご注意ください

市民課 ☎ 52-2117

システム停止に伴い、一時的に「住基カード」及び「マイナンバーカード」(以下、カード)を利用した次の手続きができなくなります。

■日時

2月14日(火) 13時～終日

▶カードの交付申請 ▶カードへの公的認証の付与・変更 ▶カードの券面事項の更新・暗証番号再設定・廃止

▶カードを利用した転入手続き ▶他市町村への住民票交付申請

